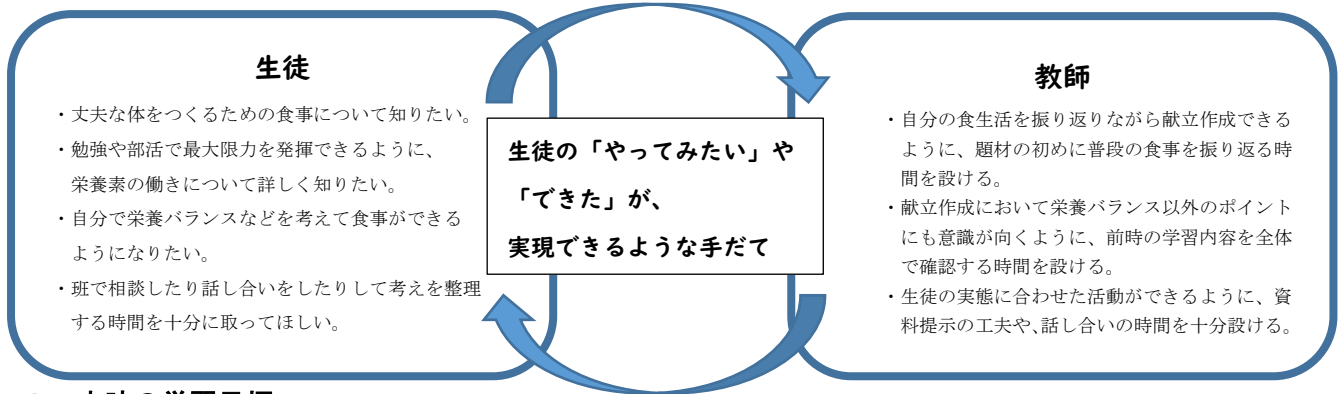


天童市立第一中学校 <生徒と教師の内省の往還>

令和8年7月8日 5校時 2年3組 教科 家庭 授業者 梅津 夏美 会場 被服室

1. 生徒と教師の内省の往還 (実施アンケートより)



2. 本時の学習目標

・献立作成のポイントをつまえて、中学生の1日分の献立を考えることができる。

3. 学習活動 (本時6/7)

生徒の思考、表現等	学習活動	教師の手立て、支援
① 本時の学習の流れを確認し、課題を把握する。(10分) (一斉)		
<ul style="list-style-type: none"> ・献立を考える際の大事なポイントは何だったか。 ・献立作成の手順はどうだったか。 ・どうやって献立作成を行うのだろうか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・イラストや写真を提示し、献立作成のポイントや手順を理解できるようにする。 ・デジタル教材を実際を使って見せ、使い方を確認する。
組み合わせを工夫して、中学生の私にぴったりの1日分の献立を考えよう		
② 中学生の1日分の献立を考える。(15分) (個)		
<ul style="list-style-type: none"> ・献立作成のデジタル教材の使い方が難しい。 ・どうしたら基準を満たせる献立になるのだろうか。 ・たくさんのメニューから献立を考えたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教材の使い方を一人ひとり自分の手元でも確認できるように、資料を準備する。 ・デジタル教材に含まれないメニューの栄養素も複数提示し、献立作成の幅を広げられるようにする。
③ グループ・全体で考えを共有する (10分) (班・一斉)		
<ul style="list-style-type: none"> ・好きなものでメニューを組み合わせると、3群・4群が不足し、6群が基準を超えてしまう。 ・基準を満たす量の野菜を摂取できるように献立を考えるのは難しい。 ・3群と4群を増やすためにはどうしたらよいだろうか。 		<ul style="list-style-type: none"> ・基準よりも過不足しやすい食品群を全体で共有し、できる工夫を考えたり、悩んでいることを互いに出し合うことで、解決策を導けるようにする。 ・調理の仕方によって量を摂取しやすくなる食材があることを確認する。
④ 個に戻り献立を完成させる。(10分) (個)		
<ul style="list-style-type: none"> ・自分では気づかなかった視点に気づくことができた。 ・他の人の考えも参考にして考えてみよう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・グループ、全体での交流で得た新たな視点をもとに、自分の考えを深められるようにする。
⑤ 本時の学習のふり返りを記入する。(5分) (個)		
<ul style="list-style-type: none"> ・3群や4群の食品が不足しないように、意識して野菜を献立に取り入れられた。 ・メニューの組み合わせを工夫して献立を作成できた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・献立作成を行う中で工夫した点を具体的に記入させる。 ・次回の活動を説明し、見直しをもって授業に臨めるようにする。

4. 評価

・献立作成のポイントをつまえて、中学生の1日分の献立を考えることができる。

(提出課題、活動の様子 思・判・表、態)